

5 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価については、期末日の市場評価に基づく時価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却については、定額法により実施している。
- (3) 退職給付引当金の計上については、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理は、税込み方式としている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有 価 証 券	2,332,942,500	0	126,968,000	2,205,974,500
普 通 預 金	245,753	0	0	245,753
小 計	2,333,188,253	0	126,968,000	2,206,220,253
特定資産				
退職給付引当資産	11,624,992	4,083,334	4,000,000	9,166,661
減価償却引当資産	1,249,480	76,829	0	1,326,309
公益事業実施基金	155,585,305	0	5,309,640	150,275,665
小 計	168,459,777	4,160,163	9,309,640	163,310,300
合 計	2,501,648,030	4,160,163	136,277,640	2,369,530,553

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産				
有 価 証 券	2,205,974,500	(1,900,000,000)	(305,974,500)	—
普 通 預 金	245,753	(0)	(245,753)	—
小 計	2,206,220,253	(1,900,000,000)	(306,220,253)	—
特定資産				
退職給付引当資産	9,166,661	(0)	(9,166,661)	—
減価償却引当資産	1,326,309	(0)	(1,326,309)	—
公益事業実施基金	150,275,665	(0)	(150,275,665)	—
小 計	160,768,635	(0)	(160,768,635)	—
合 計	2,366,988,888	(1,900,000,000)	(466,988,888)	—

- 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 金 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什 器 備 品	1,185,975	1,036,545	149,430
ソ フ ト ウ ェ ア	289,764	289,764	0
合 計	1,475,739	1,326,309	149,430

- 5 敷金・保証金の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

預 託 先	種 別	金 額
(株) 丸 善	丸善ビル (淀川相談室)	240,000
山 口 元	山口ビル (堺相談室)	100,000
合 計		340,000

- 6 出資金の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

出 資 先	出 資 額
大阪府警察信用組合	100,000

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細（省略）

（単位：円）

区 分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
基本財産					
	基本財産計				
特定資産					
	特定資産計				

※基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載しているため、内容の記載は省略する。

2 引当金の明細

（単位：円）

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	11,624,992	3,791,669	6,250,000	0	9,166,661